



R.I. District2610 . ROTARY CLUB OF UOZU
魚津ロータリークラブ 会報誌
2009 - 2010 年度 RI 会長 ジョン・ケリー
魚津 R.C 会長 大城 道雄

第 2718 回 例会報告

2010年 3月 5日

ゲストならびにビジター紹介

米山奨学生 李 峰 君
アタゴ美建工業 (株) 愛宕 彰君



誕生祝

3月 6日 大島夫人
3月 16日 関口君

会長挨拶

本日から新会員が入会されましたので皆さんにご紹介いたします。
市内で建築関係の仕事をされています愛宕様です。ただ今から入会式をおこないます。

アタゴ美建工業 (株) 社長 愛宕 彰君

このたび長い歴史のある魚津ロータリークラブに入会させて戴きまして
ありがとうございます。今後ロータリー発展のために皆さんとともに頑張り
いきますのでよろしくお願い申し上げます。



幹事報告

- * 河北南 RC より 週報
- * 魚津市より 魚津市民ゴルフ大会の協賛、参加のお願い
- * 富山国際現代美術展より 『アートエクストヤマ』開催案内
- * 平行在来線等対策連絡協議会より 『市民フォーラムのご案内』

出席報告

本日の出席者 29名 出席率 87.87% 欠席者 4名
メイクアップ済み 辻 英晴君、中島久義君

ニコニコボックス

大城君

委員会報告

友情交換委員会 辻君

先週理事会開催し開催に向けた具体的内容を検討しております

情報委員会 ロータリーの友3月号配布してありますので、しっかり内容の確認をお願いします。

本日の卓話 「つくし学園の現状と課題」

つくし学園 園長 浜田 律子様

施設の名称は指定知的障害児童通園施設 魚津市立つくし学園で魚津社会福祉協議会が運営管理しています。定義は知的に発達の遅れが認められること、及びおくれがあると思われる就学前の児童が対象です。入園は保護者さんとの契約制度に平成18年よりなりました。現在職員は11名で入所児童の療育及び障害児等療育支援事業を行っております。学園の施設の機能を活用してもらいながら発達の遅れが心配なお子さんの指導を、そしてまた、一番は保護者の悩みや苦しみを聞いてあげる支援の場です。施設の目的は障害児の発達に必要な早期療育を集団的、個別的に行い子供の置かれている心身の状況や家庭環境等を配慮しながら、傷害による困難や障害の軽減に努め発達段階を考慮した療育を進める他子供と家庭の向上を計ることを目的としています。

運営方針として子供たちの人格を尊重し成長する権利を認め障害があってもどの子ども地域社会の中で生活していくことを前提に、生活スキルの獲得の基盤づくりを中心に考えてやっています。

定員は20名ですが現在22名を預かっています。発達障害のお子様の入所が増えてきており障害が多様化してきております。また低年齢化が進み在籍年数が長くなってきております。入所できない待機児童も多数います。療育の現場は一人ひとりの発達に応じ支援計画をたて進めておりますがゆっくり、ゆっくりが良い。ゆっくりゆっくりで良いをモットーに療育を進めており子育て井戸端会議は園児の保護者だけでなく卒園児、療育相談に来ている保護者、障害者を抱えた保護者等にも広く呼びかけ参加してもらっています。お互いの悩みや苦しみを話し合うことで分かち合ったり、障害を学習する場としています。保護者が障害児を抱えて孤独感を味わわないように皆で支えあう仲間作りを考えています。

療育相談は今年度100件近くありました。アスペ、ADHD、高機能自閉症の相談が半数を占めます。しかしながら現状の園舎は昭和49年建設の建物で相談室もなく入所希望数や相談数も年々増加している現状の中定員の増加に対応するためには広い園舎が必要です。魚津市の財政の逼迫している中で魚津市だけでやっていくのは無理があります。新川圏域として障害者を救うことを解決していかなければ解決はしないと思われます。マスコミでも取り上げられることが多くなってきましたが発達障害を支援する施設の確保と地域でサポートしてあげられるシステム作りが急務であります。地域の皆さんにも支援の輪が広がり、障害がある人もない人も地域社会で地域の方々と豊かに生活できる社会作りをみんなで考えて行けたらと願っています。

